

国民健康保険の財政支援措置強化に関する要望

要望の要旨

国民健康保険の安定的かつ持続的な運営ができるように、国庫負担割合の引上げなど、国の責任と負担において、国民健康保険の財政基盤の強化を図る措置について要望します。

要望の理由

国民健康保険制度は、平成30年4月から都道府県が財政運営や事業運営の確保等の中心的な役割を担い、市町村は資格管理や保険給付等の事務のほか、都道府県が決定した事業費納付金を納付し、保険給付に必要な費用の交付を受けています。

近年、医療の高度化や被保険者の高齢化等に伴う医療費の増加により、都道府県に納付する一人当たりの事業費納付金は増加傾向にある一方、その主たる財源である保険税収入は、被用者保険の適用拡大による被保険者数の減少などにより、減少傾向にあります。

安定した国民健康保険の運営には、保険税率の引上げによる財源の確保が必要となりますが、国民健康保険の被保険者は、被用者保険に比べ、税の負担能力が低い方の割合が高く、また、物価高騰など厳しい経済情勢の中、保険税率の引上げは、一層被保険者の生活を圧迫することにつながります。

国民健康保険の保険者及び被保険者が直面する財政面、経済面での課題に対処するため、保険者が、国民健康保険を安定的かつ持続的に運営できるように、また、被保険者が、医療サービスを享受しながら、安心して日々の生活を送ることができるように、国民健康保険の財政支援措置強化について、以上のとおり要望するものです。